

第72期 中間報告書

2020年4月1日から2020年9月30日まで

ご挨拶

株主の皆様には平素より格別のご支援を賜り誠に有難く心から厚く御礼申し上げます。

さて、当第2四半期累計期間（2020年4月1日～2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う企業活動の停滞や個人消費の冷え込み等、極めて厳しい状況となりました。緊急事態宣言が解除され、企業活動の再開により、国内消費は回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の終息が見通せず、先行きが不透明な状況で推移いたしました。

世界経済では新型コロナウイルス感染症の拡大に加え、米中貿易摩擦問題の激化、中東の地政学リスク等により、混沌とした国際情勢が続いております。

このような状況の下、当社におきましては地域の皆様を中心としたライフラインの機能性が高い事業を営む企業として、「安全・安心」と「安定供給」を最優先し、経営資源の有効活用をテーマに環境に応じた運営方針により、業績の回復に努めてまいりました。

石油事業では燃料油の構造的な需要減少と新型コロナウイルス感染症拡大による法人稼働の低下を背景に、数量以上に適正な口銭（マージン）確保に努めました。油外製品販売では状況下での最大化を目指し、ウェブ媒体を利用した新規顧客獲得に注力しております。また専門店事業部に関しては新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、公共交通機関の利用が減少する中、自転車での通勤・通学需要の取込みに注力いたしました。その結果、当第2四半期累計期間の売上高は13億72百万円（前年同期比18.0%減）、営業利益は57百万円（前年同期比56.9%増）、経常利益は58百万円（前年同期比56.9%増）、四半期純損失は12百万円（前年同期、四半期純利益24百万円）となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

（石油事業）

石油業界におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による国際需要の低下と石油産油国の利害関係による国際情勢の影響を受け、原油価格は依然として不安定な状況が続いております。国内動向に関しましてはガソリンを中心とした燃料油販売は、元売り各社の再編によるシナジー効果により市場価格は比較的安定した状況で推移しましたが、ハイブリットをはじめとする低燃費車の普及や電気自動車の開発から国内石油製品は構造的な需要減少傾向にあり、先行きは不透明な状況が続いています。

当社SS事業部に関しましては、感染防止対策と営業コストの見直しを進めると共に、引き続き、収益改善施策として、販売数量と適正な口銭（マージン）確保を根幹に店舗運営時間及び運営形態の見直し、油外製品での利益拡大に努めました。

燃料油販売面では適正な口銭（マージン）確保は好調に推移しましたが、前年同期と比べ、当第2四半期累計期間では販売数量の減少に加え、燃料油原価が著しく低下している状況から販売価格は低下し、販売数量の減少に加え、売上が伸び悩む要因となっております。

油外販売面ではウェブ媒体を使用した車検・タイヤ・洗車・コーティングの顧客獲得も一定の成果を収め、引き続きレンタカー事業やリペア事業にも注力しております。これらの結果、油外製品販売は好調に推移し、SS事業部に関しましては前年同期と比べ、減収増益となりました。

石油商事事業部につきましても、新規顧客開拓と営業コストの見直しに加え、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響を最小限に抑える為、小口配送やその他出荷形態などで、お客様の要望に応える事に努めております。販売数量に関しましては構造的な需要の減少に加え、新型コロナウイルス感染症拡大による工場やホテル、その他法人稼働の低下に伴う影響により減少しましたが、口銭（マージン）に関しましては直需部門の新規顧客獲得および新規仕入先の開拓による仕入努力により増加しております。その他物販事業や元売法人カード管理業務に関しましても法人稼働の低下により減少いたしました。

そしてSS事業部と同様に、燃料油原価が著しく低下している状況から販売価格が低下したことにより石油商事事業部は前年同期に比べ、減収増益となりました。

これらの結果、石油事業全般におきましては、売上高8億84百万円（前年同期比 26.2%減）、営業利益65百万円（前年同期比 48.7%増）となりました。

（専門店事業）

専門店事業であるサイクルショップ「コギー」におきましては、自転車業界での市場並びに国内消費動向が厳しさを増す中、新型コロナウイルス感染症拡大により、各自転車メーカーの海外工場生産が停滞し、需要のある電動自転車並びにスポーツバイクの在庫確保が困難となりました。現在は回復傾向にあるものの、感染拡大により公共交通を利用したくないニーズから自転車購入需要が世界的に発生し、自転車生産遅延に加え、在庫確保が困難な状況となっております。

ります。

このような状況の下、当第2四半期累計期間の営業活動と致しましては、感染防止対策を行うとともに、戦略在庫確保による話題性の高い商品を始め消耗品類の充実により店舗利用価値の向上に努めました。また在庫保管用の倉庫機能の充実、売れ筋の子供用自転車のプライベートカラー展開、一部店舗の自転車配達業務も開始しております。集客面では、ホームページ上に商品のラインナップ情報やブログ案内、店舗アプリの活用など、お得な商品情報の配信による集客活動を積極的に行いました。

これらの結果、専門店事業部におきましては、売上高4億8百万円（前年同期比3.3%増）、営業利益12百万円（前年同期比2.2%減）となりました。

（不動産事業）

不動産事業におきましては、当社の巣鴨ダイヤビル・川口ダイヤピア共に、現在は満室状況であり、計画的な修繕を継続しつつ、ビルの資産価値の維持と入居者さまへの安全・安心の提供に努めております。

仙台のセルフ岩切についても、引き続き安定した賃料収入を維持しており、トランクルームの運営に関しましても堅調に推移している状況が続いております。これらの結果、不動産事業部におきましては、売上高78百万円（前年同期比0.8%減）、営業利益47百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

株主の皆様には、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役
会長兼社長

北野 稔

中間貸借対照表

(2020年9月30日現在)

(単位：千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
流 動 資 産	677,717	流 動 負 債	225,533
現金及び預金	290,207	買 掛 金	113,576
受取手形及び売掛金	201,429	未払法人税等	4,368
商 品	152,182	その他の流動負債	107,588
その他の流動資産	33,897		
固 定 資 産	1,228,566	固 定 負 債	315,371
有形固定資産	1,081,956	長期預り保証金	69,669
建 物	192,419	再評価に係る繰延税金負債	195,448
土 地	873,228	その他の固定負債	50,253
その他の有形固定資産	16,308		
無形固定資産	1,139		
投資その他の資産	145,470		
差入保証金	108,166	負 債 合 計	540,904
その他投資	78,209	純 資 産 の 部	
貸倒引当金	△40,906	株 主 資 本	995,977
		資 本 金	90,000
		資 本 剰 余 金	276,439
		利 益 剰 余 金	718,193
		自 己 株 式	△88,655
		評 価 ・ 換 算 差 額 等	369,401
		土 地 再 評 価 差 額 金	369,401
		純 資 産 合 計	1,365,379
資 産 合 計	1,906,284	負債及び純資産合計	1,906,284

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間損益計算書

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		1,372,040
売上原価		920,949
売上総利益		451,090
販売費及び一般管理費		393,402
営業利益		57,687
営業外収益		
受取利息	13	
受取配当金	133	
受取補助金	420	
その他の営業外収益	696	1,263
営業外費用		
支払利息	14	
その他の営業外費用	358	372
経常利益		58,578
特別利益		
補助金収入	8,134	8,134
特別損失		
貸倒損失引当金繰入額	7,646	
新型コロナウイルス感染症関連損失	11,760	
解決金及び第三者委員会設置調査費用	42,000	61,406
税引前中間純利益		5,306
法人税、住民税及び事業税		4,396
法人税等調整額		13,132
中間純損失		12,222

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

中間株主資本等変動計算書

(2020年4月1日から2020年9月30日まで)

(単位：千円)

	株 主 資 本				
	資本金	資本剰余金			利益剰余金
		資本準備金	そ の 他 資本剰余金	資本剰余金 合計	そ の 他 利益剰余金 繰越利益 剰余金
2020年4月1日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	737,624
中間期変動額					
剰余金の配当					△7,208
中間純損失					△12,222
中間期変動額合計	—	—	—	—	△19,430
2020年9月30日残高	90,000	24,790	251,649	276,439	718,193

	株 主 資 本		評価・換算 差 額 等	純資産 合 計
	自己株式	株主資本 合 計	土地再評価 差 額 金	
2020年4月1日残高	△88,655	1,015,408	369,401	1,384,809
中間期変動額				
剰余金の配当		△7,208		△7,208
中間純損失		△12,222		△12,222
中間期変動額合計	—	△19,430	—	△19,430
2020年9月30日残高	△88,655	995,977	369,401	1,365,379

(注) 記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

会社の概要 (2020年11月30日現在)

会 社 名	ダイヤ通商株式会社
本 社	〒170-0002 東京都豊島区巣鴨一丁目11番1号 巣鴨ダイヤビル3階
資 本 金	90,000,000円
発行済株式の総数	822,200株
主要な事業内容	サービスステーション 7店 サイクルショップ「コギー」 10店 石油製品の卸および直販などの経営

取締役および監査役 (2020年9月30日現在)

代表取締役 会長兼社長	北野 稔	常勤監査役	山本 清武
取 締 役	甲斐 祥哲	監 査 役	伊伏 正貴
取 締 役	菊池 新治	監 査 役	小林 由紀
取 締 役	小林 茂和		
取 締 役	辻角 智之		

店舗のご案内 (2020年11月30日現在)

サービスステーション

東京都 巢鴨 SS

湯島 SS

佃大橋 SS

日野万願寺 SS

埼玉県 SS ヨンク和光

入間大井 SS

神奈川県 ヨンク菅馬場店

COFFEY

東京都 ららぼーと豊洲店

トリエ京王調布店

埼玉県 コーンシティさいたま新都心店

神奈川県 たまプラーザ店

金沢文庫店

ららぼーと横浜店

辻堂駅前店

藤沢店

戸塚駅前店

川崎ルフロン店

株式についてのご案内

事業年度	毎年4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
配当金支払株主確定日	期末配当……………毎年3月31日 中間配当を行う場合は毎年9月30日
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法によります。 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
同連絡先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-782-031 (通話料無料)
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	東京都府中市日鋼町1-1 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話0120-232-711 (通話料無料) 郵送先〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

(お知らせ)

- ・株式に関するお手続きについて
株式に関するお手続き（届出住所／姓名などの変更、配当金の振込方法／振込先の変更など）につきましては、お取り引きされている証券会社へお問い合わせください。
- ・特別口座について
株券電子化の施行日（2009年1月5日）以前に証券保管振替機構を利用されていない株主様の所有株式は、特別口座で管理されております。
特別口座で管理されている株式に関する各お手続きは、上記の三菱UFJ信託銀行の連絡先へお問い合わせください。